



2025年2月期第2四半期 決算説明資料

2024年10月17日



NISSEN

株式会社 日宣

東証スタンダード市場：6543

目次

- 01 エグゼクティブサマリー
- 02 2025年2月期第2四半期決算概要
- 03 中期経営計画に基づく施策の進展
- 04 2025年2月期業績予想
- 05 株式時価総額向上に向けた取り組み
- 06 会社概要

01

エグゼクティブサマリー

売上高は前年同期比微増となるも、収益性は向上

エグゼクティブサマリー

2025年2月期
2Q
(3-8月)

売上高	2,638 百万円	+ 5.5%
-----	------------------	--------

営業利益	154 百万円	+89.3%
------	----------------	--------

経常利益	159 百万円	+120.9%
------	----------------	---------

四半期純利益	77 百万円	+44.5%
--------	---------------	--------

Summary

- ケーブルテレビ局向けテレビ番組情報誌の事業譲受による売上増があった一方、医療・健康領域の売上は伸び悩んだ。その他領域における売上増もあり、売上高は前年同期比微増。
- 販売費および一般管理費は、人材募集費が前年同期比で増加。
- 保有有価証券（株式会社ルグラン）の減損処理に伴う特別損失を計上

02

2025年2月期第2四半期 決算概要

売上高は前年同期比微増となるも、収益性は向上

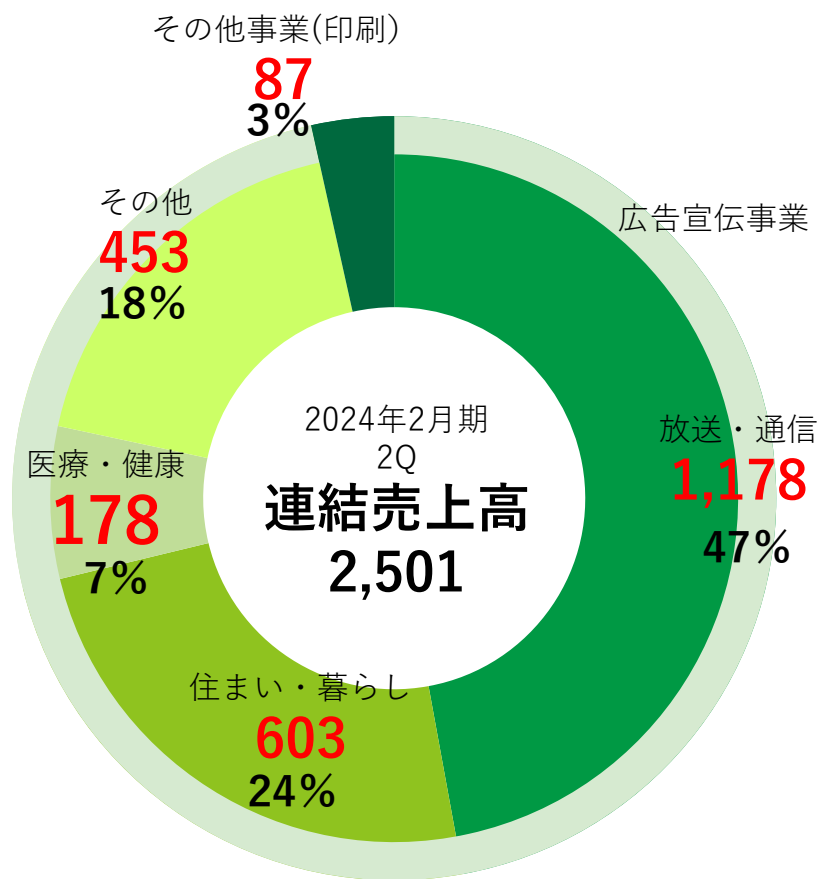
2025年2月期 第2Q連結損益計算書

- 売上高は、ケーブルテレビ局のガイド誌事業の譲受の通期寄与等により前年同期比+5.5%
- 営業利益は、原価の抑制等、利益率の向上により同+89.3%
- 経常利益は、投資事業組合の運用損益改善等により、同+120.9%
- 四半期純利益は、保有有価証券の減損処理に伴う特別損失を計上するも、同+44.5%

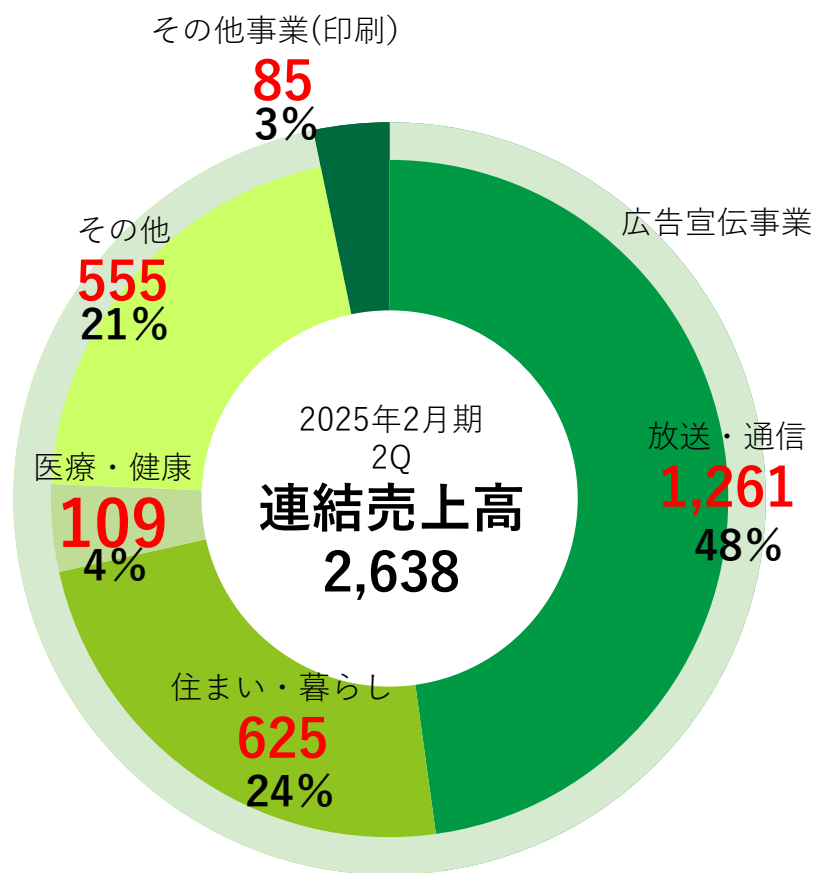
(単位：百万円)	2024年2月期 2Q	2025年2月期 2Q	前年同期比 増減率
売上高	2,501	2,638	+5.5%
売上総利益	545	632	+15.9%
販売管理費	463	477	+3.0%
営業利益	81	154	+89.3%
売上高営業利益率	3.3%	5.8%	+2.5pts
経常利益	72	159	+120.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	53	77	+44.5%
当期純利益率	2.1%	2.9%	+0.8pts

放送・通信が事業譲受で増加、医療・健康領域が伸び悩み

2025年2月期 第2Q連結売上高



(金額単位：百万円)

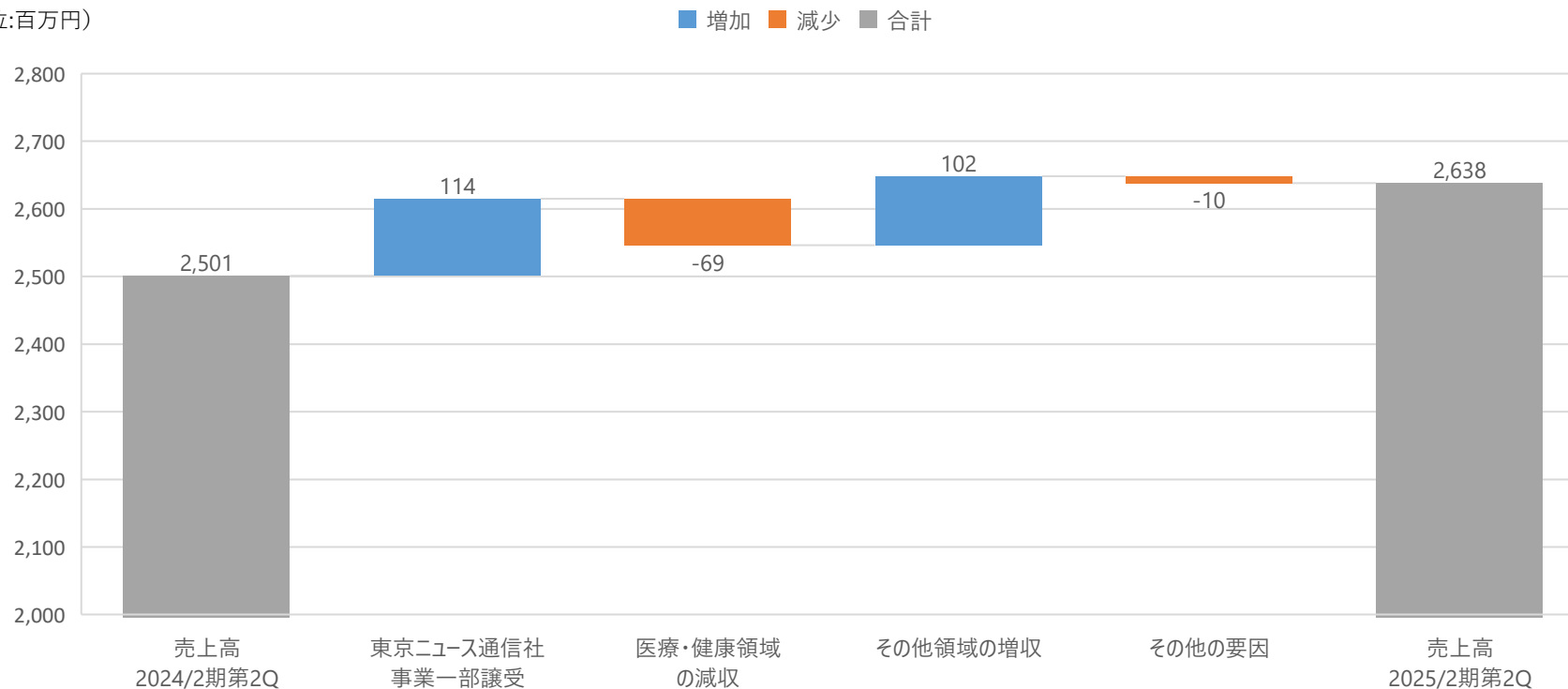


(金額単位：百万円)

M&Aの通期寄与・飲食チェーン向け事業等の伸びもあり増収

前年同期からの売上高増減

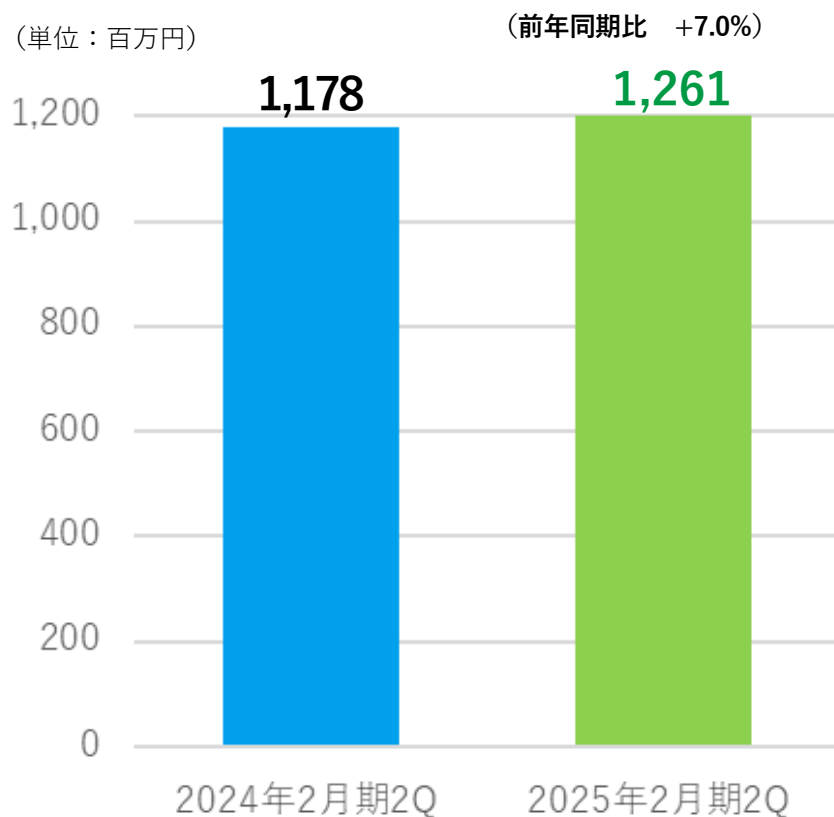
(単位:百万円)



- 東京ニュース通信社からの事業一部譲受により、114百万円増
- 医療・健康領域が伸び悩み、69百万円減
- その他領域において飲食チェーン向け事業の好調等により、102百万円増

M&Aの通期寄与により増収

放送・通信業界の実績



■ 2025年2月期2Qの売上高は、1,261百万円、前年同期比 +7.0%

■ 主力の『チャンネルガイド』は前期に実施したM&Aが通期で売上に寄与し、増収

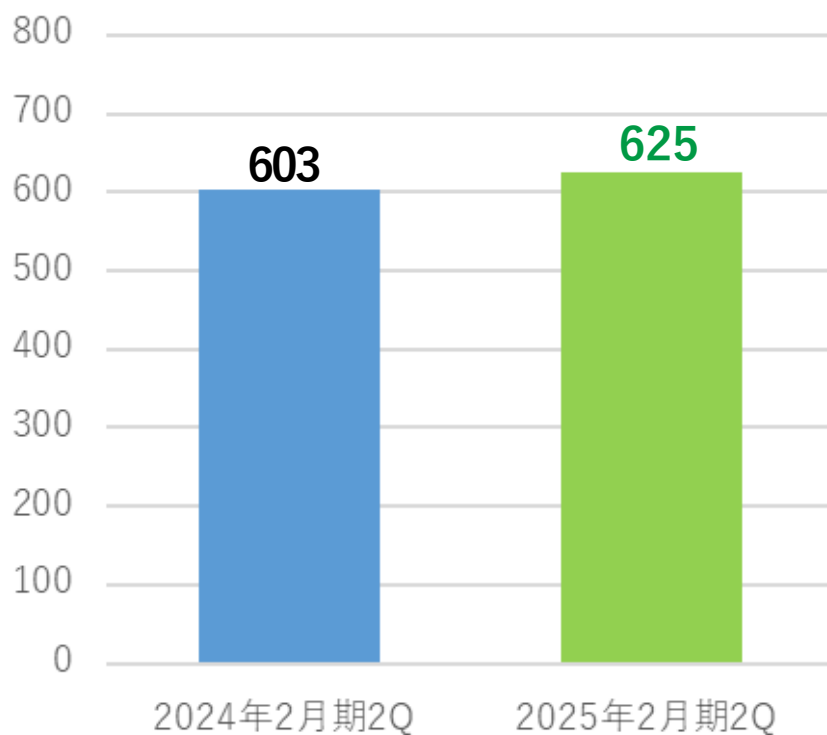
■ 前期は用紙価格高騰や印刷費用上昇の影響を受けたが今期は、原価抑制等に努め、収益性も向上

大手顧客との取引が伸び悩む

住まい・暮らし業界の実績

(単位：百万円)

(前年同期比 +3.7%)



■ 2025年2月期2Qの売上高は、625百万円、前年同期比 +3.7%

■ 同業界の顧客との取引について、前年同期比では回復したものの、依然として厳しい状況

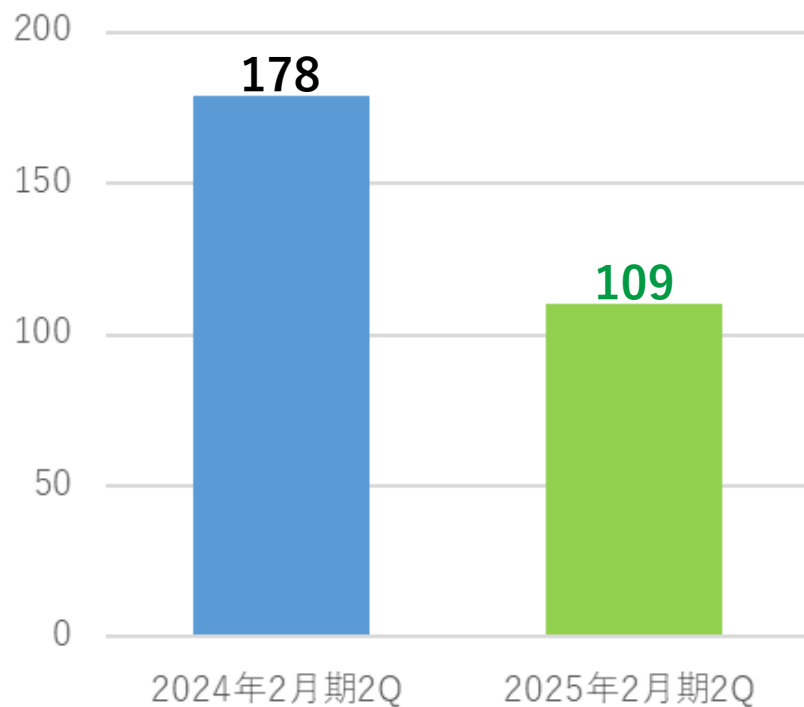
■ これまでに培ったノウハウを活用し、提供サービスの拡大・受注案件増を目指す

大手顧客との取引が伸び悩む

医療・健康業界の実績

(単位：百万円)

(前年同期比 -38.5%)



■ 2025年2月期2Qの売上高は、109百万円、前年同期比-38.5%

■ 同業界の顧客との取引が伸び悩んだことが主因

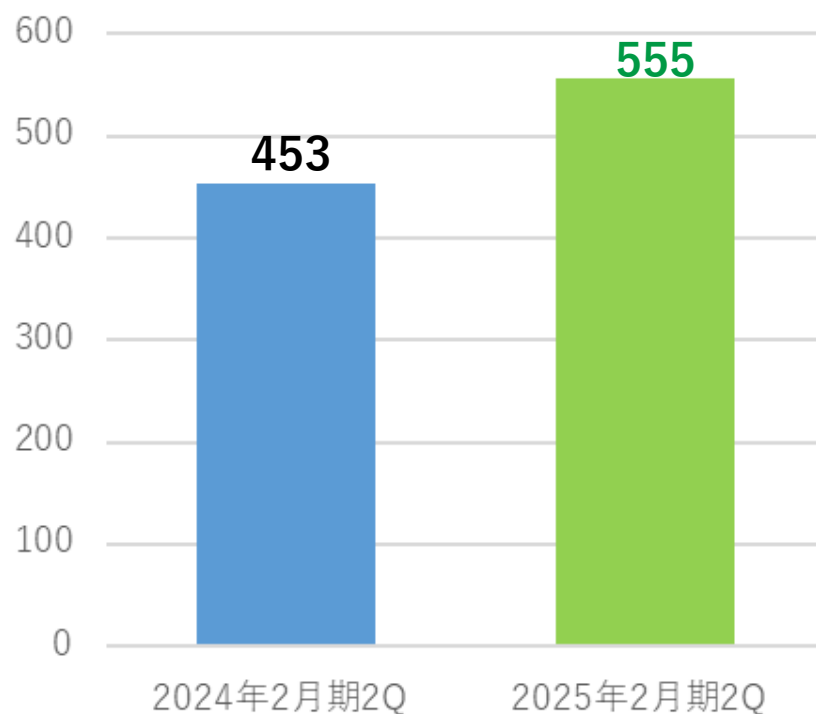
■ クライアントとの信頼関係をベースに、マーケティング分野以外でも提案を継続中

大手飲食チェーン向け事業が好調

その他業界の実績

(単位：百万円)

(前年同期比 +22.4%)



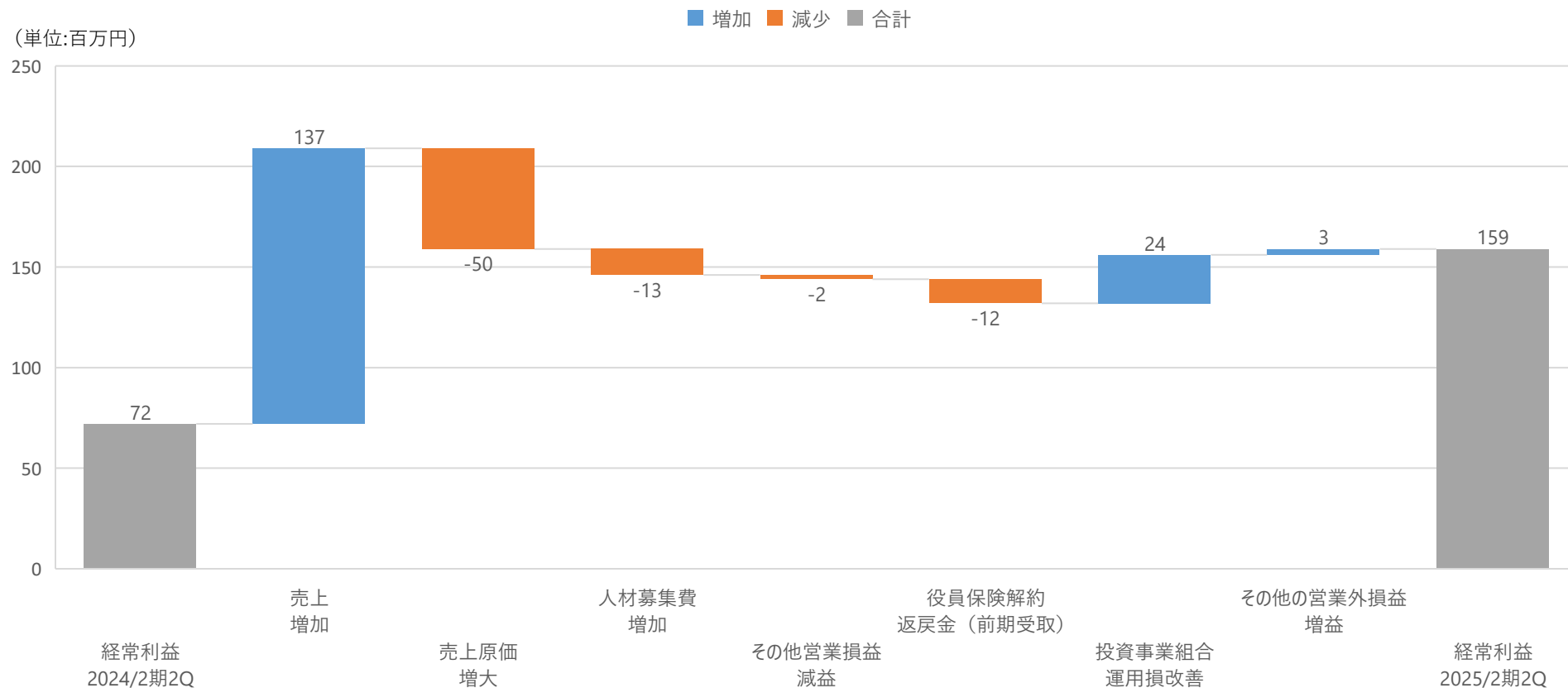
■ 2025年2月期の売上高は、555百万円、前年同期比 +22.4%

■ 大手飲食チェーン向け事業が好調に推移

■ 当社戦略2030ビジョンの柱の一つである「ブランドコミュニティ」に基づき、引き続き事業拡大中

売上増と営業外収支の改善により増益

経常利益の増減



- 放送通信領域、その他領域の売上増等により、営業利益、経常利益ともに増益
- 費用面では人材募集費が増加、また営業外では投資事業組合の運用損益が改善

自己資本比率70%台の強固な財務基盤を堅持

2025年2月期第2Q 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2024/2期 4Q	2025/2期 2Q	増減率
流動資産	2,178	2,281	+4.7%
現金及び預金	1,486	1,622	+9.2%
固定資産	2,395	2,328	▲2.8%
有形固定資産	1,664	1,649	▲0.9%
資産合計	4,574	4,609	+0.8%
流動負債	647	725	+12.1%
固定負債	647	620	▲4.2%
長期借入金	293	263	▲10.1%
負債合計	1,294	1,345	+3.9%
純資産	3,279	3,264	▲0.4%
負債純資産合計	4,574	4,609	+0.8%
自己資本比率	71.7%	70.8%	▲0.9pts

03

中期経営計画に基づく 施策の進展

中期経営方針

2030ビジョンに向けた魅力・強み最大化
(コミュニティ発想のビジネス化) と成長基盤構築による企業価値向上

①タテ×ヨコ成長

各事業成長×
コミュニティマーケティング

■「各事業成長×コミュニティマーケティング」
の成長領域化、事業化

②M & A・投資の活用

強み×強み

■関係値高く取引継続のある得意先/人財の獲得
■戦略的に適合するサービスの獲得と創造
■出資による提携・関連企業づくり

③人材・経営管理の強化

全員参加の経営

■経営マインド、経営人財の育成

「コミュニティ発想」で仕掛ける新サービス

- 全国のケーブルテレビ局とローカルコミュニティをデジタルでつなく、次世代番組ガイドをリリース（2024年7月）
- SNSを活用し、新たなプラットフォームとコミュニケーションの場を創出



次世代番組ガイド「Community Connecting Guide」 (CCG)

M&Aの推進

- 人材等のリソース確保やクライアント獲得に向け、M&Aを推進
- デジタル領域等で戦略に合致する企業への投資も検討
- ルグラン社株式については、今次中間期決算において減損処理（△31百万円）を実施

M & A



旧日産社は2023年3月1日付で日宣に吸収合併。

東京ニュース通信社からケーブルテレビの番組ガイド誌の一部を事業譲受。2023年1月に契約を締結し、3月に実行。



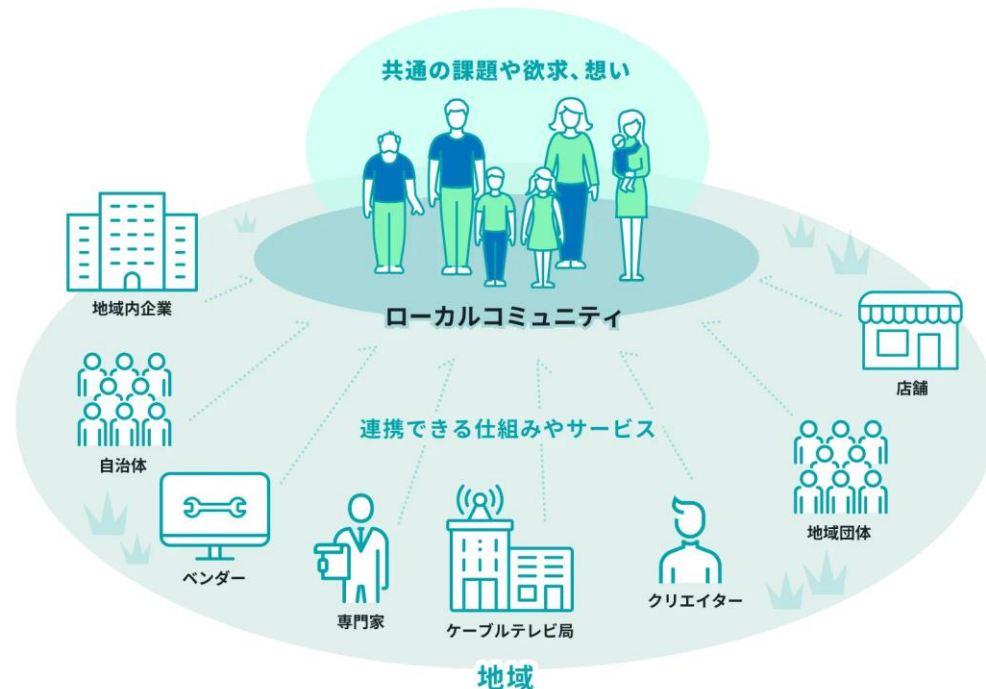
500 Startups Japanが設立したSPVを通じ、(株)SmartHRの第三者割当増資に参加

SV Fintech投資先で、(株)ココペリに続きVenteny社（インドネシア）が上場。

2022年8月にはデジタルマーケティングエージェンシーの(株)ルグランと資本提携。

エリアビジネスへの投資

- ケーブルテレビ株式会社（栃木）と共同で設立したホームタウンエナジー社へ追加出資（2024年4月）
- 電力小売事業を通じ、地域活性化や地方創生に貢献



ホームタウンエナジー社への追加出資

実施前

450株

当社持分（11.25%）



実施後

750株

450株

当社持分（25.26%）

社内研修プログラムの構築

- イーラーニングを活用した当社独自の研修プログラムをスタート
- ビジネスに関する基礎知識から社の歴史、事業モデルに至るまで幅広いコンテンツを提供

The screenshot displays the Nissen e-learning platform with three course cards under the heading '新着講座' (New Courses). Each card includes a thumbnail, title, category, end date, and progress bar.

- Course 1:** 日宣成長の歴史【大津社長】 (Nissan Growth History [President Otsu]). Category: ■歴史・各事業を知る講座. Ended: 2024/11/29 22:00. Progress: 0%.
- Course 2:** ケーブルテレビBD事業の紹介【講師：折笠】 (Introduction to Cable TV BD Business [Instructor: Oriyoshi]). Category: ■歴史・各事業を知る講座. Ended: 2024/11/29 22:00. Progress: 0%.
- Course 3:** AHG事業の紹介【講師：織部】 (Introduction to AHG Business [Instructor: Oribe]). Category: ■歴史・各事業を知る講座. Ended: 2024/11/29 22:00. Progress: 0%.

Below these, there is a '新着講座' (New Courses) section with three more cards:

- Course 4:** 【サービス紹介】 CCG サービスについて (Service Introduction: About CCG Service). Category: ■現場・事例を知る講座. Ended: 2025/09/30 23:59. Progress: 0%.
- Course 5:** 【事例紹介】 3分でわかる HEBEL HAUSが できるまで動画 (Case Introduction: Video of how HEBEL HAUS can be done in 3 minutes). Category: ■現場・事例を知る講座. Ended: 2025/09/30 23:59. Progress: 0%.
- Course 6:** ケーブルテレビBD事業の紹介【講師：折笠】 (Introduction to Cable TV BD Business [Instructor: Oriyoshi]). Category: ■歴史・各事業を知る講座. Ended: 2024/11/29 22:00. Progress: 0%.

The graphic features the CCG logo on the left, which consists of three stylized human figures in blue and green. To the right of the logo, the text reads: **【サービス紹介】** (Service Introduction), **Community Connecting Guide**, **CCG**, and **サービスについて** (About the Service). The Nissen logo is in the bottom right corner.

04

2025年2月期業績予想

2025年2月期業績予想

単位: 百万円	24年2月期 (実績)	25年2月期 (予想)	増減額
売上高	5,224	6,000	+776
営業利益	300	320	+20
営業利益率	5.7%	5.3%	▲0.4pts
経常利益	285	315	+30
親会社株主に帰属 する当期純利益	197	215	+18
当期純利益率	3.8%	3.6%	▲0.2pts

■売上高は過去最高水準を目指す

■本予想算出に当たっては、NLP実施に伴う引当金60百万円の計上を見込む

05

株式時価総額向上に 向けた取り組み

株式時価総額向上が課題

市場評価と本来の企業価値の比較

- PBR 1 倍を割り込み、本来の企業価値が株価に反映されていない状況

市場からの評価

時価総額28億円

PBR 0.8倍

純資産ベースでの企業価値 (当社独自試算)

約50億円

純資産額32.6億円

+

保有資産※の含み益17億円

※有価証券・土地等

いずれも2025年2月期第2四半期末時点

あるべき企業価値の実現に向けて

株式時価総額向上に向けた取り組み

- 3つの柱でさらなる企業価値向上を目指す

IR活動
の強化

中期経営
計画の遂行

株主還元
の拡充

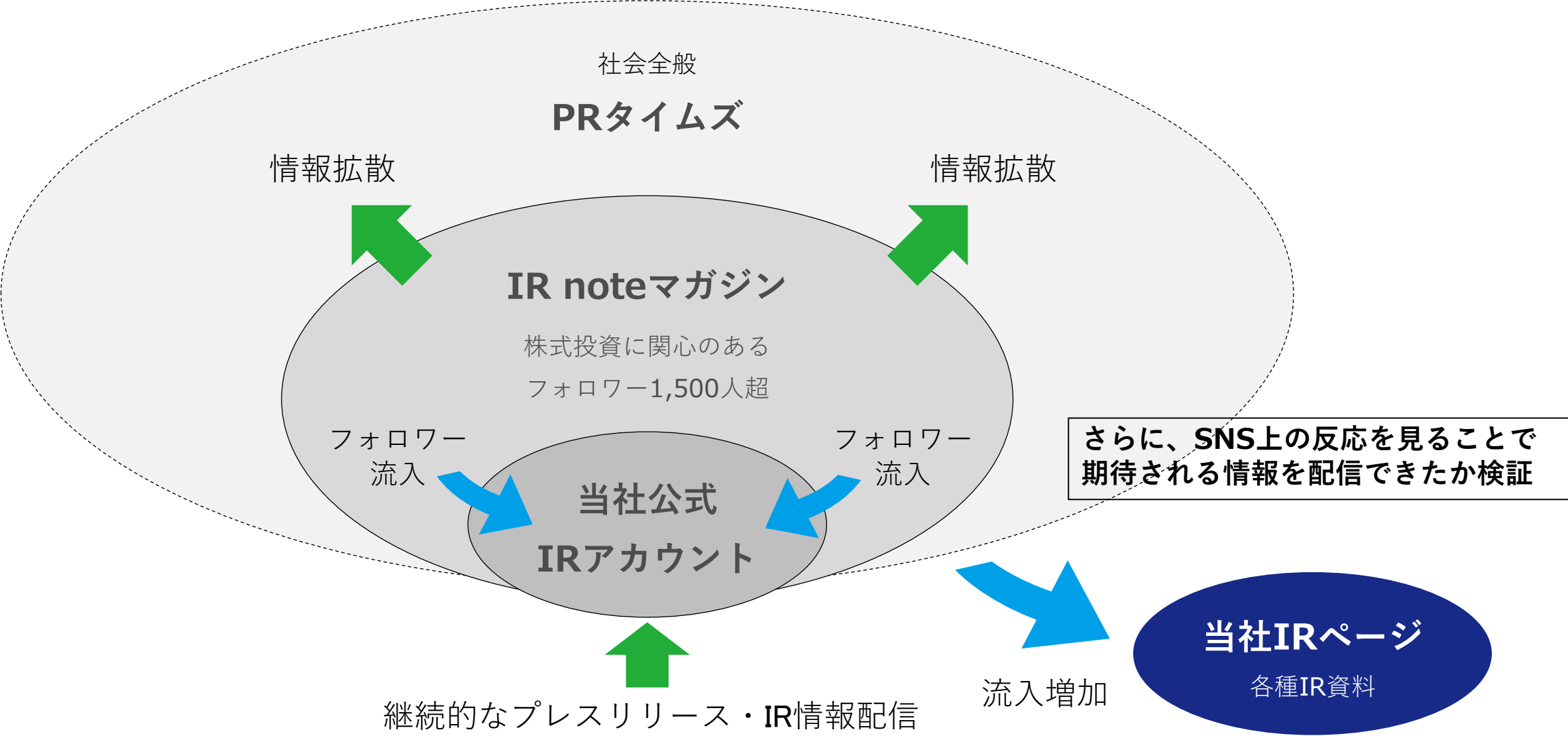
SNSやメディアプラットフォームを活用

IR活動の強化

- 9月30日にSNS（X）やnoteのIR公式アカウントを開設
- 情報発信の強化と投資家との接点増加を図る



(参考) 投資家との接点増加のイメージ



計画達成による企業価値向上を目指す

中期経営計画の遂行

- 2026年2月期を最終年度とする現中期経営計画を着実に遂行する

(単位：百万円)

	2024年2月期 実績	2025年2月期 予想	2026年2月期 中計最終年度	中計最終年度の 2024年2月期対比
売上高	5,224	6,000	6,600	26.3%
営業利益	300	320	460	53.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	197	215	305	54.5%
営業利益率	5.7%	5.3%	7.0%	1.3pts

段階的な増配を目指す

株主還元の拡充

- 当期利益の大幅な変動による配当額への影響を減少させつつ、段階的な増配を目指すため、配当目標に用いる指標を連結配当性向から連結株主資本配当率（DOE）に変更
- 適切な機会を捉えた自己株式の取得等を継続的に検討

変更前

配当性向30%



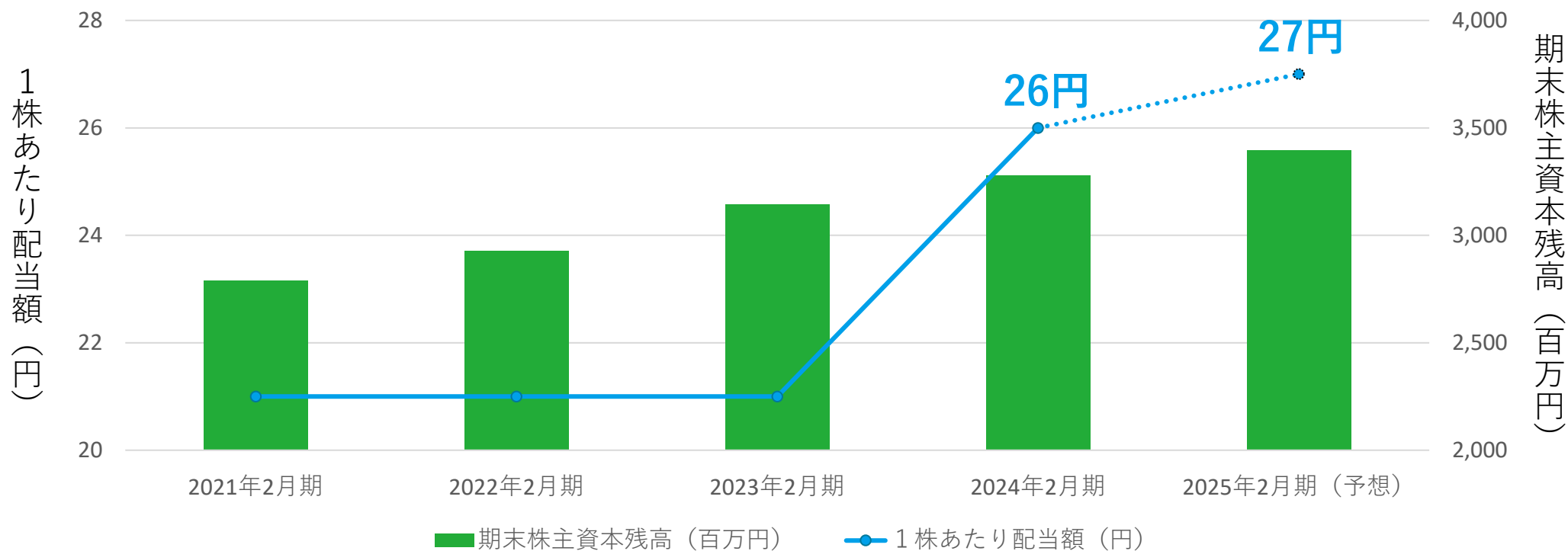
変更後

DOE3%

前期に続き増配を見込む

2025年2月期は27円の配当予想

■ 5円の増配を実施した前期に引き続き、増配を見込む



※配当予想は2024年4月12日時点のものです。当社は、2022年8月31日付で株式分割（普通株式1株を2株に分割）を実施しており、2022年2月期以前の配当実績は、当該株式分割後に換算した金額を記載しております。

06

会社概要



社名

株式会社 日宣（スタンダード上場）

創業

1947年4月（創業77年）

代表者

代表取締役社長 大津裕司

資本金

347百万円

従業員数

134名（2024年8月末現在）

事業内容

広告プロモーション・コミュニケーションサービス全般

本社

東京都千代田区神田司町2-6-5 日宣神田第2ビル

連結子会社

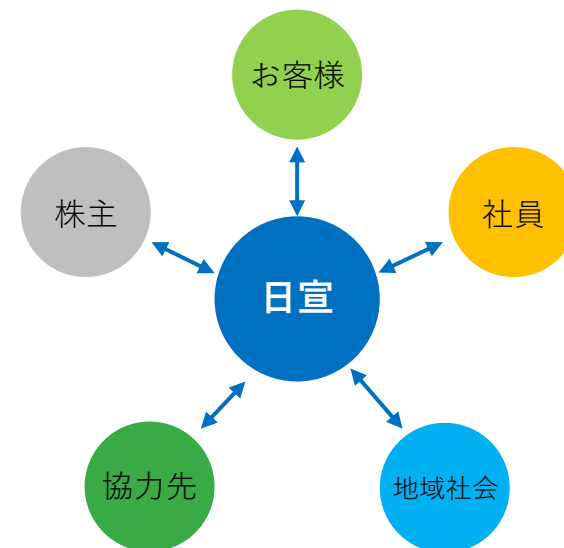
日宣印刷



経営理念

全社員の物心両面の幸福を追求します。

社員が喜んで仕事をする会社であることが、お客様への提供価値を高め、株主をはじめステークホルダーを重視した経営に繋がる。社会・地域の幸福を目指す。



私たちは、「コミュニティ発想」をもとに、あらゆるステークホルダーの価値創造パートナーとなります。

私たちは、生活者を「コミュニティ」として捉え、その発想をクリエイティビティの起点にする。
私たちは、クライアントのパートナーとして、共に新市場を創造し、その経営に貢献する。
私たちは、ステークホルダーと共創し、サービスを通じて社会・地域の幸福を目指す。

おことわり

本資料の取扱いについて

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。

これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。